宣言

義に反する前代未聞かつ言語道断の独裁政治です。 る国に変えようと暴走しているのです。これは、戦争放棄や国民主権を宣言した日本国憲法に対する明らかな挑戦であり、 る国に変えようと暴走しているのです。これは、戦争放棄や国民主権を宣言した日本国憲法に対する明らかな挑戦であり、立憲主す。安倍政権は今、主権者国民の意向を無視して、日本をアメリカと一体となって「自衛」の名のもとに世界中で軍事行動ができ 約束する演説をしたうえ、沖縄県知事を先頭に多くの人々が反対するアメリカ軍の新基地建設をも力ずくで達成しようとしていま 後日本の進路を大きく変えようとしているのです。また安倍首相は、この法案が国会に提出される前にアメリカ議会でその成立を の声をあげて行動しています。これは日本の歴史上、非常に画期的な出来事です。しかし安倍政権はそれらに一切耳を貸さず、 ろって「違憲」と断言しました。世論調査では過半数の国民が反対し、今でも国会前をはじめ全国各地で多くの市民が「絶対廃案!」 私たちは今日ここフォレスト仙台において、第四二回「信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」を開催しました。 ほとんどの憲法研究者、最高裁の元長官や元判事あるいは元内閣法制局長官、そして日弁連と国内すべての弁護士会が、 昨年九月に憲法九条の下で集団的自衛権の行使を可能とする安保関連法案を強行採決しました。この法案に対して 皆そ

を発信し続け、戦争に反対する姿勢をはっきり示し、 す。今こそ私たち一人ひとりが、そして報道機関が、信教・思想・報道の自由の大切さを理解し、その権利を行使して批判的意見 加害に関する歴史認識が妨げられる場面が増える中で、宮城県では今春から二つの県立中学校で復古的な歴史教科書が使用されま 的中立性」が間違った意味で強調され、反対意見や少数意見が封じ込められつつあります。「慰安婦」や南京大虐殺など過去の戦争 ようとしています。そして軍事行動に対する国民の批判を許さない風潮が生まれています。既に報道や教育の現場において「政治また南シナ海や尖閣諸島周辺で中国が軍事行動を強化しています。これらの出来事に対して、いま自衛隊による軍事行動がとられ 欧米諸国による一方的な中東政策とイスラム教徒に対する差別や偏見を背景に、昨年からISによる「テロ」が相次いでい 政府の言いなりにならない姿勢を貫くことが絶対に必要です。 ます。

不服従の行動で闘いぬくことを改めて誓います。そして決意を新たに、 私たちは、安倍政権の暴走を阻止し、 人権・平和・民主主義を定めた日本国憲法を守りぬくため、 次の通り宣言します。 恐れることなく言論と非暴力

- 国憲法の施行の日である「憲法記念日」こそふさわしいと私たちは確信します。 帝国憲法下における「紀元節」を復活させたものにすぎません。現在の「日本国」誕生の日は、 私たちは、今日の「建国記念の日」と憲法の改悪に反対します。 「建国記念の日」は、天皇神話に基づくだけで歴史的根拠はなく、 人権・平和・民主主義をうたう日本
- ど、これらすべてに反対します。 出解禁、特定秘密保護法、安保関連法案(集団的自衛権の行使)、 私たちは、国民の「知る権利」をはじめとする基本的人権を侵害し、国民主権の否定と戦争のできる国家の形成につながる武器輸 沖縄米軍の新基地建設、 原発の再稼働、 そして共謀罪の法制化な
- 的利用につながる動きに反対します。 私たちは、首相や閣僚による靖国神社や伊勢神宮への参拝、 靖国神社の国家護持など、 政教分離原則に反する動きや、 天皇の政治
- 民主化を妨げる動きに反対します。また二つの県立中学校において来年度から復古的な歴史教科書の採択を決めた宮城県教育委員会 に対して、厳しく抗議します。 公立学校その他での「日の丸・君が代・元号」の強制、道徳教育の教科化、教育に対する行政の不当な介入や、 教育の
- すべての関係者が真実と公正を貫き人権の尊重に努めるよう要望します。 断固反対すると同時に、クリーンエネルギー普及に関する報道の促進、 私たちは、これらの諸問題で報道機関が権力批判の役割をしっかり果たすよう求めます。報道や取材活動への不当な規制や介入に 犯罪事件における実名報道や安易な犯人視報道の抑制など、

二〇一六年二月一一日

二・一一信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会

靖国 社国家管理反対宮城県連絡会議加 盟五 ○団体 (アイウエオ順)

全仙仙仙仙青生新自司子河 力核 台 平 和 ト リ 器 ッ 廃 台靖国法案阻 活 法 بح 新自治体をそだてる学者文化人の会 日 年 由 台 台 北 学 田反法動 金 協 も と 字会 青 本 戦 年 本 法 博 团 相合 あ本 婦 人 の本 婦 人 の 法 市キ 新夕正 を 求 絶 教 を 科 IJ 報義と対 献 め る 員 書み 止キリス に宮 ス 協 い会コ宮 宮 城 l k k N 丰 労 やぎ 会宮 和リムス 労 城 県 連 絡 会 憲 働 ス ス 城 卜者連絡 プ 県 台協者の 法 ト 者 城 県 みや ! 研組 組 組連 支 支 本 の究 の 21 合 会会合会会合合部ぎ部部議 숲 숲

平婦婦日 東東 本 婦 人 有 権 者 同 盟 仙 台 支本 パプテスト 連盟東北地方連本出版労働組合連合会仙台地域協議 和・民主・革新の日本をめざす宮城の人 民主 クラブ 宮 城 県 支 部 協 議人民主 クラブ 全国協議 会宮 城 支本 民 主 法 律 家 協 会 東 北 支 北 本 本 本 北 北大学 北 + 北 キ 科 Ι. 本 IJ 送 放大学業 学 労 労 生 ス者 大 山 送 学 働 卜 牛 ト 会 学 組 教 IJ 労 職 改 議 教 妙 合 団 職 革 宮 働員 東 教 派 城 北台 法 員 北 護 組青 組 教 支 教 年 会 会 部 部部部合会寺区会部団合合会合

立宫宫宫宫宫宫宫宫宫 宮 宮 宮 平和をつくり出す宗教者ネ 城 城 城 城 城 正城城 城 城 城 県 学 県 城 教 県 私 立 県 佼 歴 婦 院 高 脱 県 護 歷 労 等 女 学 憲 成史人 史 憲 平 教 原 学 子 校 学 平 法 会 科 問 教 校 和 発 育 法 教 職 和 仙 学 題 学 合 員 組 者 委 セ 風 職 台 研 連 守 総 ン in み 슾 員 合 員 組 る 0 教究絡 連 組組 組 連 会会会合会議会合 一会 合 合 合 合